



県立高校（特色選抜）受検生必見！

令和3年度 県立高入試における「募集する生徒像」

令和3年度栃木県立高等学校全日制課程入学選抜における「募集する生徒像」および「特色選抜の資格要件、選抜の方法」等が栃木県ホームページ（※下記URL）に公開されました。県立高校（特色選抜）の受検にあたっては、ここに示されている「特色選抜に出願するための資格要件」を満たしていることが必要となります【※詳細は11/21（土曜授業）本校体育館で開催する「県立高校入試説明会」において説明）。高校ごとに様々な要件が示されていますので、ぜひ一度ご覧いただき、受検や進学の意味がある生徒のみなさんは、その資格要件を満たす努力を出来るだけ早い段階（1、2年生のうち）からしておくとうよいと思います。

令和3年度県立高等学校入学選抜に関するお知らせ

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m04/h32koukounyuusi/r03kokonyushi/r03oshirase.html>

【 重要なお知らせ 】

令和3年度小山工業高等専門学校学生募集要項の公表等の一時停止について
先日、小山高専学生課より高専本部よりの通知ということで、新型コロナウイルス感染症の影響により、学生募集要項の内容に変更が生じる場合があるため、募集要項の配布、入試情報のHPへの掲載を一時停止するとの連絡がありました。詳しい情報が新しく入り次第、発信していきたいと思っております。

令和2年7月 実施

宮の原地域学校園キャリア教育アンケート実施

～ 児童・生徒の基礎的・汎用的能力 ～

このアンケートは、宮の原地域学校園の小学5・6年生全児童および中学1～3年生全生徒を対象として、「児童・生徒の職業観を問うアンケート」と「児童・生徒の基礎的・汎用的能力を問うアンケート」の2種類を実施しています。今号では実施内容の質問事項と昨年度実施内容の中から「児童・生徒の基礎的・汎用的能力を問うアンケート」結果についてお知らせします。「児童・生徒の基礎的・汎用的能力を問うアンケート」は以下の通り12の質問で構成されています。

質問1	友達や家の人の意見を聞くとき、その人の考えや気持ちを受け入れて聞こうとしているか。
質問2	相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしているか。
質問3	自分から役割や仕事を見つけ、分担しながら、周囲と力を合わせて行動しようとしているか。
質問4	自分の興味や関心、長所や短所などについて、知ろう（把握しよう）としているか。
質問5	あまりやる気が起きない物事に対する時でも自分がすべきことには取り組もうとしているか。
質問6	不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしているか。
質問7	分からないことや知りたいことがある時進んで資料や情報を集めたり質問したりしているか。
質問8	何か問題が起きた時同じ問題が起こらないようにするために何をすればよいか考えているか。
質問9	何かをする時、計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしているか。
質問10	学ぶこと・働くことの意義や学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしているか。
質問11	自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えているか。
質問12	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしているか。

以上の12の質問に対する回答結果から、児童・生徒の4つの能力「①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力」が身に付いているかどうかを読み取ることができるアンケート構成となっています。これら4つの能力を身に付けていくこと、伸ばしていくことをキャリア教育では目指しています。

①人間関係形成・社会形成能力 【質問1～3】	・相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる力。 役割を果たしつつ他者と協力することができる力。
②自己理解・自己管理能力 【質問4～6】	・自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について自分自身の理解に基づき、進んで学ぼうとする力。
③課題対応能力 【質問7～9】	・仕事をする上での様々な課題を発見し、計画を立ててその課題を解決することができる力。
④キャリアプランニング能力 【質問10～12】	・「働くこと」の意義を理解し、自ら主体的に判断してキャリア形成（自己実現）をしていく力。

【 昨年度の結果から 】

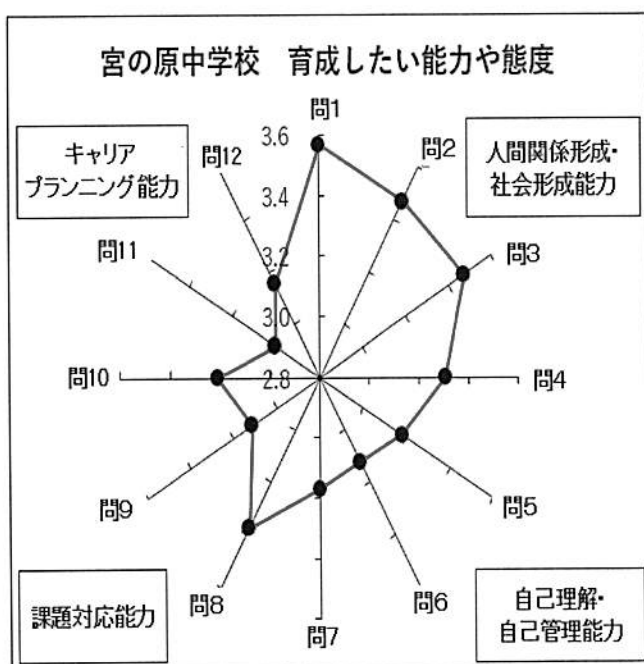


図1 宮の原中学校生徒の育成したい能力や態度

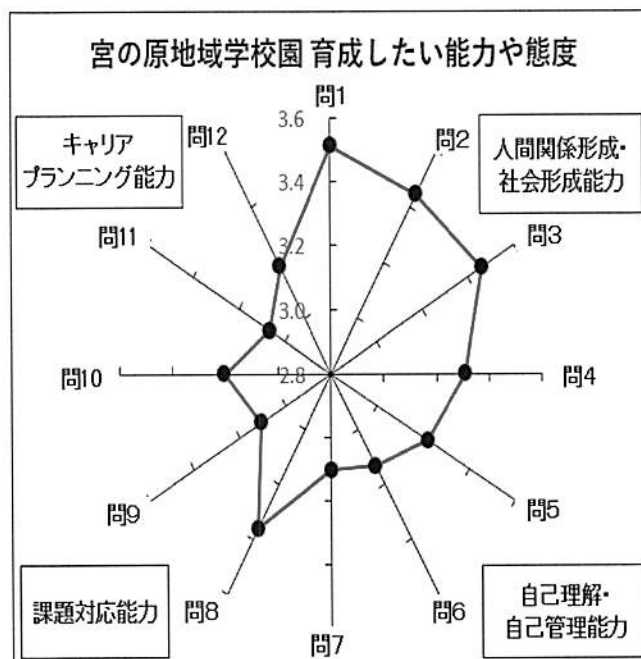


図2 地域学校園児童・生徒の育成したい能力や態度

上記グラフ全体を見ると、基礎的・汎用的能力のうち「人間関係形成・社会的形成能力」（質問1～3）の平均が高く、「キャリアプランニング能力」（質問10～12）の平均が低いことが分かります。宮の原地域学校園の重点目標の1つとして「自己肯定感を高める」ことを挙げていますが、これは4つの能力のうち「自己理解・自己管理能力」（質問4～6）に該当します。家庭・地域・学校で協力してこれらの能力を伸ばすことが課題ということになります。家庭でも学校でも児童生徒の自信や自己肯定感が高まるような取り組み（褒めて伸ばす）を行うことや、学ぶことや働くことの意義や役割についての話題を持つ機会を増やすことなどがポイントとなります。保護者の方も先生方もこのアンケート結果を役立てていただければ幸いです。